

令和4年度 生徒学習状況等アンケート結果より

【分析】

- ① 行事に関する雰囲気づくりについては、高評価である一方、学習に関する雰囲気づくりについては、あまりよろしくない。

「本校は、皆さんが行事に精一杯取り組める雰囲気がつくりけているか」という質問については、生徒は高い評価（**そう思う：60.8%**、少し思う：33.3% 合計 94.1%）をしているが、それに比較して、「本校は、皆さんが授業に精一杯取り組める雰囲気がつくりけているか」という質問については、低い評価となっている（**そう思う：37.0%**、少し思う：47.9% 合計 84.9%）。部活動に精一杯取り組める雰囲気づくりについては、**そう思う：46.2%**、少し思う：39.8% 合計 86.0%であった。

- ② 学校生活全般については、満足している生徒の割合が高い。

「学校生活全般にわたって、どの程度満足しているか」という質問に対して、満足している：32.0%、まあまあ満足している：56.5% 合計 88.5%、あまり満足していない：9.6%、満足していない：1.8%となっている。

- ③ 勉強する目的や意義が明らかになっている生徒の割合は高い？

83.2%の生徒が肯定的な回答をしているが、内容までは不明。

受験のため？少しでも偏差値の高い有名大学に入ることが目的？それはなぜ？名のおった有名企業に入るため？それはなぜ？突き詰めれば・・・。

- ④ 学習目標や学習計画を立てていない生徒が3割以上いる。

「学習目標や学習計画を立てられているか」という質問に対して、**あまりできていない：27.8%**、**全くできていない：8.6%** 合計 36.4%を占めている。

- ⑤ 科目の目標を理解している生徒が少ない。

「各科目についての目標を理解した上で、授業に取り組んでいるか」という質問に対して、**そう思う：23.3%**、**少し思う：50.7%**、**あまり思わない：22.4%**、**全く思わない：3.5%**となっている。

- ⑥ 授業に集中できていない生徒が1割以上いる。

「授業に集中して取り組めているか」という質問に対して、常にできている：24.1%、ある程度できている：61.3%、**あまりできていない：12.9%**、**全くできていない：1.7%**となっている。

- ⑦ 授業での振り返りができている生徒が少ない。

「授業で学んだことを単元毎や毎時間毎に振り返りをして整理しているか」という質問に対して、**あまりしていない：42.4%**、**全くしていない：12.4%** 合計 54.8%を占めている。

- ⑧ 学習に関して、自主性と主体性を比較すると、主体性のある生徒の割合の方が高い。

自主的：自分以外の人が決めて示したやるべきことを、言われなくても実行する。

主体的：やるべきことを自分で考えて実行する。

自主的に学習 → できている：25.3%、少しはできている：45.2% 合計 70.5%

主体的に学習 → できている：30.2%、少しはできている：47.8% 合計 78.0%

- ⑨ 学習時間が少ない生徒の割合が多い。

「平日に、授業以外に1日あたりどれくらい教科の勉強をしているか」という質問に対して、**1時間未満：38.7%、1時間以上2時間未満：37.8%**と学習時間が不足している。3時間以上の生徒は、10.8%。

休日についての同じ質問に対して、**1時間未満：29.1%、1時間以上2時間未満：33.9%**と学習時間が不足している。3時間以上の生徒は、18.5%。

⑩ **目の前の進路実現に向けた授業を望んでいる生徒の割合は少ない。**

「どのような授業をしてほしいか」という質問に対して（複数回答可）、内容が面白い：36.9%、将来（人生）に役立つ：28.2%、学ぶ喜びを感じる：18.2%、目の前の進路実現：14.1%であった。

⑪ **授業をはじめ様々な学習活動のうち、課題の添削指導を望んでいる生徒が約2割いる。**

「授業をはじめとする学習活動に対して、どのようなことを希望するか」という質問に対して、課題の添削指導：19.6%、補習時間を増やしてほしい：11.4%、小論文指導をしてほしい：7.4%、小テストを増やしてほしい：5.0%、残りはなしという結果であった。

今後に向けて

学習指導における改善点

- 1 先ずは、勉強する目的や意義を突き詰めて考え、自ら学ぼうとする内発的動機付けができるように、先生も考え、生徒にも考えさせる指導をします。
- 2 自分が担当する教科・科目が、社会とどのようにつながっているのか？どのような魅力があるのか？学ぶ必要性は？各教科の見方・考え方とは？中学生でもわかるように言語化します。
- 3 学習に対する振り返りをします。

令和5年2月15日実施の職員研修にて、中島博司先生から、文章を書く（入力する）ことによって、論理力がつき、学力向上につながることを学びました。80文字で2文を接続詞で結び、授業の振り返りと再構築をする（R80）ことにより、文章を書く力、論理的思考力を高め、学力向上に繋がります。